

令和6年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子の解答番号と解答用紙の番号を間違えないように注意してください。
3. 科目およびページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～16
世界史	18～39
地理	42～67
政治・経済	68～83

4. 受験票を試験時間中は、机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退場は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

東地中海沿岸の地域では、オリエントからの影響のもとエーゲ文明と総称される青銅器文明が生まれた。もとよりこの地域の気候は、夏は晴天が多く乾燥し、冬に降水量が増える地中海性気候と呼ばれるもので、バルカン半島の南部やクレタなどでは、農耕や牧畜が可能であった。他方、穀物生産に適した^(a)エジプトや黒海沿岸などでは、穀物栽培が発展したため、地中海を通じた交易がこの文化圏の形成に影響を与えたといえるだろう。こうした中で前2000年頃からクレタ島でクレタ文明（ミノア、ミノス文明）が生まれ、前1600年頃からはギリシアの北方からバルカン半島南部に移住してきた民が^(b)ミケーネ文明を築いた。ミケーネ文明は、前1200年頃、諸王国の滅亡とともに終焉を迎えたとされる。その後のギリシアでは国は再建されず、暗黒時代と呼ばれる混乱期に入った。

^(c)前8世紀、各地でアクロポリスと呼ばれる丘を中心にして人びとが集まり、小規模な国たるポリスを形成した。人びとは、アクロポリスの上にポリスの住民を守る神を祭る神殿を建設し、その麓には、集会所たる を設けた。 は生活の中心であり、役所や市場などが備えられていた。ポリスの構成員は、その初期にあっては農民であり、労働力を補うために奴隷を利用したり、季節労働者を雇ったりしていた。自由人たるポリスの市民には貧富の差もあり、富裕な貴族もいれば、中小の農民や貧農もいたが、政治の担い手は貴族であった。

スパルタは、ドーリア系のギリシア人によって建てられたポリスである。スパルタは、征服戦争をおこない、征服した地の住民たちを隷属農民として利用した。彼らはヘイロータイと呼ばれたが、スパルタは市民に比べ圧倒的多数を占めるこのヘイロータイの反乱を恐れ、市民には幼年時代から兵士になるための訓練を受けさせた。これらの市民は、後に重装歩兵として活躍した。ヘイロータイを常に監視し、軍事を優先するスパルタの政治体制はこうしてできあがった。このようなスパルタの体制は、 の制と呼ばれる。

^(d)イオニア系のギリシア人によって建てられたアテネは、前7世紀から貴族と平民の対立が激化するようになり、前6世紀の初頭にソロンが調停者となって貴族と平民の関

係を改善する施策をおこなった。しかし、^(e)ソロンの改革は、貧富の格差をなくす仕組みを作ることを目的としていなかったことから、社会の混乱の再発は避けられなかった。そこに現れたのが僭主の である。 は、農業の振興に努めたため、中小農民は安定した生活を取り戻した。しかし、中小の農民たちは政治への関心を失っていき、アテネの政治は僭主による暴政へと向かっていった。僭主政治の崩壊後、新たに民衆の心を掴んだのが の政策である。新しい政策は、アテネの民主政の基礎を作るものとなった。

前5世紀にギリシアのポリスは、^(f)アケメネス（アカイメネス）朝との大きな戦争、^(g)ペルシア戦争を経験した。この戦争では、すべてのギリシア人たちが団結してギリシアのポリス側で戦ったわけではなく、戦争に関与しなかったり、ペルシアの側についたポリスもあったが、結果的にアテネが勝利して、同じギリシアのポリスであるスパルタと並ぶ強国となった。

問1 下線部(a)には、前3000年頃に上下エジプトを統一した王国が成立したとされる。エジプトの文明について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 古王国時代には、テーベを首都としてクレタ島と交易をおこなっていた。
- ② 古王国時代には、アモンを主神としてあがめていた。
- ③ 中王国時代には、メンフィスを都にしてピラミッドを建設した。
- ④ 新王国時代には、太陰暦を用いていた。
- ⑤ 新王国時代には、ヒクソスの軍事技術を取り入れてシリアに進出した。

問2 下線部(b)もしくはそれを築いたギリシア人について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ティリンスなど、巨石で出来た遺跡が残っている。
- ② クレタ島にも侵入して支配したことがある。
- ③ クノッソスと呼ばれる宮殿を建てた。
- ④ 線文字Bが使用された。
- ⑤ この文明の小王国は、専制的な権力を持つ王が支配していた。

問3 下線部(c)の半ばから前6世紀半ばまでのおよそ200年間は、ギリシア人たちがエーゲ海の外に進出する時期であり、この間、地中海・黒海沿岸の各地にギリシア人の植民市が生まれている。次の都市のうち、ギリシアの植民市ではないものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① カルタゴ ② シラクサ ③ タレントウム ④ ネアポリス
- ⑤ ビザンティオン ⑥ ミレトス

問4 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アゴラ ② カナート ③ ノモス ④ パンテオン
- ⑤ ミット ⑥ ワスプ

問5 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① サルゴン ② ソロモン ③ デーモス ④ ドラコン
- ⑤ バビロン ⑥ リュクルゴス

問6 下線部(d)に関連し、前6世紀に活躍したイオニア自然哲学者について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

6

- ① アリストアルコスは、地球の自転を主張した。
- ② アルキメデスは、数学・物理学の諸原理を発見した。
- ③ エウクレイデスは、平面幾何学を大成した。
- ④ エラトステネスは、地球の円周を計測した。
- ⑤ ピタゴラスは、万物の根源を数と見なした。

問7 下線部(e)について述べた次の文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。 7

- a 市民の政治への参加は、財産額の大きさによることを定めた。
- b 市民が身体を抵当にして借財をすることを禁止した。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問8 ・ に入る人名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①

～⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|---|------------|------------|
| ① | ウ：クレイステネス | エ：テミストクレス |
| ② | ウ：クレイステネス | エ：フェイディアス |
| ③ | ウ：クレイステネス | エ：ペイシストラトス |
| ④ | ウ：テミストクレス | エ：クレイステネス |
| ⑤ | ウ：テミストクレス | エ：フェイディアス |
| ⑥ | ウ：テミストクレス | エ：ペイシストラトス |
| ⑦ | ウ：フェイディアス | エ：クレイステネス |
| ⑧ | ウ：フェイディアス | エ：テミストクレス |
| ⑨ | ウ：フェイディアス | エ：ペイシストラトス |
| ⑩ | ウ：ペイシストラトス | エ：クレイステネス |
| ⑪ | ウ：ペイシストラトス | エ：テミストクレス |
| ⑫ | ウ：ペイシストラトス | エ：フェイディアス |

問9 下線部(f)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① この王朝は、ギルガメシュがおこしたものである。
- ② キュロス2世は、ユダ王国を滅ぼし、ヘブライ人をバビロンに連れ去った。
- ③ ダレイオス1世は、領土の各州にサトラップ（知事、総督）を置いて統治した。
- ④ ダレイオス1世は、「鷲の目」「兎の耳」と呼ばれる監察官を各州に巡回させ、中央集権をはかった。
- ⑤ ダレイオス3世の時代には、ペロポネソス同盟諸国との戦争を開始した。

問10 下線部(g)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アテネの市民軍は、マラトンの戦いでは敗北したが、サラミスの海戦ではペルシア軍を打ち破った。
- ② ペリクレスの指揮によって、アテネは、カイロネイアの戦いでペルシア軍に勝利した。
- ③ 戦後、アテネでは、軍艦の漕ぎ手として戦った無産市民の発言力が高まった。
- ④ この戦争の結果、アテネでは貧富にかかわらず男女ともに平等に参政権を持つようになった。
- ⑤ この戦争をきっかけに、アテネはスパルタとデロス同盟を結び、ペルシアの侵攻に備えようとした。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

1789年5月5日、フランス各地から1200人近い三身分の代表がヴェルサイユ宮殿に集まった。1614年を最後に開かれていなかった、 を開催するためである。混乱のなか、第三身分、つまり官職保有者や法律家を中心とするブルジョワが「」を名のって、封建制の完全な廃止の宣言をおこない、^(a)「人権宣言」によって近代社会の原則を提示した。1792年王権が廃止され、翌年、^(b)国王ルイ16世と王妃マリー=アントワネットは処刑された。200年あまり続いた 王朝は、ここに崩壊したのである。

旧体制という言葉は、一般にフランス史において、16世紀から18世紀までの3世紀をさして用いられる。 王朝は、^(c)カトリック（旧教）とプロテスタント（新教）の抗争が続くなかで、 が王位についた1589年に始まり、旧体制の後半の3分の2ほどを占める。16世紀初めに王位についた^(d)フランソワ1世（在位1515～47年）のイタリア文化の積極的な摂取による、フォンテーヌブロー宮殿を起点とした華やかな芸術活動は、宗教的対立の混乱期を経て、この王朝のもとで豊かな果実を結んだ。ことに18世紀の啓蒙思想家 が、「文化史上、最も輝かしい世紀」と呼んだ^(e)ルイ14世の治世には、美術にとどまらず思想や文学など幅広い分野で、今日フランス文化の古典とされる豊饒な成果が生み出された。やがてそれは、いっそう^(f)自由で繊細華麗なロココ文化へと、移り変わっていく。

（大野芳材『フランス近世の美術——国王の美術から市民の美術へ』財務省印刷局。書き改めた箇所がある。）

問1 ・ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～

⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① X：国民議会 Y：憲法制定会議
- ② X：国民議会 Y：全国三部会
- ③ X：国民議会 Y：立法議会
- ④ X：国民公会 Y：国民議会
- ⑤ X：国民公会 Y：全国三部会
- ⑥ X：国民公会 Y：立法議会
- ⑦ X：全国三部会 Y：憲法制定会議
- ⑧ X：全国三部会 Y：国民議会
- ⑨ X：全国三部会 Y：立法議会
- ⑩ X：立法議会 Y：憲法制定会議
- ⑪ X：立法議会 Y：国民議会
- ⑫ X：立法議会 Y：全国三部会

問2 下線部(a)について述べた文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- a ラ=ファイエットらが中心になって起草したものである。
- b 自由・平等・主権在民・言論の自由・私有財産の不可侵などが盛り込まれている。
- c 男女の平等やユダヤ人の解放が歴史上初めて主張された。

- ① a：正 b：正 c：正 ② a：正 b：正 c：誤
- ③ a：正 b：誤 c：正 ④ a：正 b：誤 c：誤
- ⑤ a：誤 b：正 c：正 ⑥ a：誤 b：正 c：誤
- ⑦ a：誤 b：誤 c：正 ⑧ a：誤 b：誤 c：誤

問3 下線部(b)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ルイ16世は王妃とともにオーストリアに逃亡を試みたが、国境間近のヴァレンヌでつかまり、パリに連れ戻された。
- ② オーストリアはプロイセンと共同して、国王の救援を各国君主に呼びかけた。
- ③ 王妃は、王党派と結びついたヴァンデーの反乱を支援していた。
- ④ 女性が先頭に立ってパリから大挙してヴェルサイユ宮殿に押しかけ、その結果、国王夫妻はパリに移った。
- ⑤ ルイ16世下の財政破綻は、アメリカ独立革命への参戦により決定的となった。

問4 に入る王朝名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ヴァロワ ② ウマイヤ ③ カペー
- ④ テューダー ⑤ ブルボン

問5 下線部(c)のように、宗教改革に伴って生じた新旧両派の武力抗争は「宗教戦争」といわれる。これに関連し、次に述べた文a～cの正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、問2の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- a 新教徒と諸侯が信仰の自由を守るために結成したシュマルカルデン同盟は、新教徒を弾圧する神聖ローマ皇帝カール5世に敗れた。
- b ネーデルラントの北部7州の新教徒は同盟を結び、共和国を樹立し、やがてカトリックを強制するスペインからの独立を達成した。
- c 三十年戦争は当初、宗教戦争の性格を有していたが、フランスが新教徒側について参戦したことにより、フランス対ハプスブルク家の覇権争いへと転化した。

問6 に入る国王の名と、この国王が1598年に発した王令（勅令）の名称との組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アンリ4世 : ギュルハネ勅令
- ② アンリ4世 : ナントの王令
- ③ アンリ4世 : ミラノ勅令
- ④ シャルル10世 : ギュルハネ勅令
- ⑤ シャルル10世 : ナントの王令
- ⑥ シャルル10世 : ミラノ勅令
- ⑦ ルイ9世 : ギュルハネ勅令
- ⑧ ルイ9世 : ナントの王令
- ⑨ ルイ9世 : ミラノ勅令

問7 下線部(d)に関連し、この王によってイタリアから招かれ、フランスで没した人名とその代表作の組み合わせとして最も適切なものを、次の【補足説明】を参考にして、下記の①～⑩から一つ選び、その番号をマークしなさい。 17

【補足説明】

この人物は、絵画のほか、解剖学をはじめ自然諸科学と応用技術にも才能を発揮した。

- ① ブリュエール : 子どもの遊び
- ② ブリュエール : 農民の踊り
- ③ ボッティチェリ : ヴィーナスの誕生
- ④ ボッティチェリ : 春 (ラ=プリマヴェーラ)
- ⑤ ミケランジェロ : ダヴィデ像
- ⑥ ミケランジェロ : システイナ礼拝堂天井画
- ⑦ ラファエロ : 最後の審判
- ⑧ ラファエロ : 聖ピエトロ大聖堂
- ⑨ レオナルド=ダ=ヴィンチ : 最後の晩餐
- ⑩ レオナルド=ダ=ヴィンチ : 最後の審判

問8 ウに入る人名として最も適切なものを、次の【補足説明】を参考にして、下記の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 18

【補足説明】

『哲学書簡』でイギリス滞在中に目の当たりにした宗教的寛容を称賛した。

- ① アダム=スミス ② ヴォルテール ③ デイドロ
- ④ モンテスキュー ⑤ ルソー

問9 下線部(e)について述べた文として誤っているものを、次の文①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 政務の中心を、ヴェルサイユに建設した大規模な宮殿に移した。
- ② 軍隊を増強し、侵略戦争をたびたびおこした。
- ③ この王は「太陽王」と呼ばれた。
- ④ コルベールを財務総監に任命し、重農主義政策を展開した。
- ⑤ この王の治世に、治安・交通・衛生などに関わる諸問題に取り組んでいる。

問10 下線部(f)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① バロック美術に代わり、ロココ美術が広まった。
- ② ワトーの「シテール島への巡礼」はロココ美術の代表的絵画である。
- ③ フリードリヒ2世の建設したシェーンブルン宮殿は、この様式の建築として名高い。
- ④ この頃、バッハやヘンデルがバロック音楽を大成し、モーツァルトがそれを引き継いで古典派音楽を完成させた。
- ⑤ シノワズリ（中国趣味）が、ロココ美術に影響を与えた。

〔Ⅲ〕 次の文章は、科学者の寺田寅彦が1932年12月に発表したものである（『寺田寅彦随筆集 第三巻』、岩波文庫（278～281ページ）から一部を引用。省略や書きあらためた箇所がある。

この文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

東トルキスタンの東部（現在の中国・新疆ウイグル自治区）の流砂の中に大きな湖水ロプノールのあることは二千年昔の中国人にはすでに知られていて、そのだいたいの形や位置を示す^(a)地図ができていたそうである。

^(b)西暦1730年代に二人のヨーロッパ人が別々にその地方の地図を中国から持ち帰った。ところが^(c)マルコ=ポーロは1273年にこの湖のすぐ南の砂漠を通ったはずであるのに湖の事はなんとも言っていないのがおかしい。1760年に^(d)清朝は三人のイエズス会の修道士をこの地方へ視察に派遣したが目ざす地方には至るところ砂漠ばかりで求める湖水はどうしても見つからなかった。

^(e)1876～1877年、ロシアの探検家プルジェワルスキーが探検した時にはこの湖水と思われるものが見つかったが、しかしそれは中国の古地図の示すよりはるかに、すなわち緯度にして約一度ぐらい南にあった。それで古地図がひどく間違っていたか、それともプルジェワルスキーの見たのは別物であったか、それともまた昔のロプノールに注いでいた川がその後流路を変じてその下流に別の湖水をつくり元の湖水が^{ひあ}干上がってしまったかの、いずれなのかという問題がおこった。1899年の探検で がタリム川の流路を追跡して行った時、川がある点から急角度で南東に曲がって、そうして砂漠の南のほうに湖水をつくっているのを見だし、それがプルジェワルスキーの見たのと同じものだとわかった。しかしタリム川の急に曲がった所から東のほうへかけてまさしく干上がった河床らしいものがあることに注意した。1900年に、もう一度そこへ行ってこの旧河床の地図を作り、これが昔のタリム川の残骸である事を結論した。それからもう一度ロプノールへ行ってよく観察して見ると、水がきわめて浅く、だんだんに沈積物で埋まりつつあるらしく見えた。そこから砂漠を北に横ぎって行くうちに偶然、都市の廃墟らしいものを発見した。それが昔の^{ろうらん}楼蘭であることは^(f)発掘の文書で明らかになった。この死市街の南から東へかけた平坦な砂漠の水準測量をやった結果、これが昔の湖水の跡だということが推論された。それで は、タリム川の下流は約千五百年の周期

で振り子のように南北に振動し変位し、従って振り子の球に当たるロプノールも南北に転位するであろうと想像した。ところが、1927年にもう一度[ア]が見に行ったときはもうタリム川は南流をやめて昔の干上がった河床の上を東流し始めていた。その結果として何年かの後には昔のロプノールが復活し、従って廃都楼蘭の地には再び生命の脈搏みやくはくがよみがえって来るであろうし、昔、^(g)ローマの貴族のために絹布を運んだ隊商の通った道路が再び開かれるであろうと想像されるに至った。

以上は近着の『Geographical Review』（1932年10月）所載の記事から抄録したものである。

同じ雑誌に、米国のある飛行家が近ごろ^(h)ペルーの山中を空中から探険してたくさんの写真をとって来た報告が出ている。その中に、ミスチ火山の西北に当たるコルカ川の谷でまだ世界に紹介されていない古い都市の廃墟を発見したことが記載されている。それが昔からの現地民の都ではなくてアメリカ・スペイン人の都であったことは写真で見た町のプランから明瞭だそうである。しかしどうしてこの都市がすっかり荒れ果てた死骸になってしまったかはだれにもわからない。地震か、⁽ⁱ⁾ペストか、それともソドム・ゴモラのような神罰か、とにかく、そんなに遠くもない昔に栄えた都会が累々たる廃墟となっていて、そうして、そういうものの存在することをだれも知らないかあるいは忘れ果てていたのである。

空中写真帳を見るとあの広い国が至るところただ赤裸の岩山ばかりでできているのに驚く。地図を見ているだけではこんな事実は夢にも想像されない。地理書をいくら読んでも少なくともこれら写真の与える実感は味わわれまい。一日も早く「世界空中写真帳」といったようなものが完成されるといいと思う。

問1 下線部(a)や地理、地誌に関して、世界史上では様々な編纂物^{へんさん}があらわされてきた。編纂物と著者または編者の組み合わせとして適切でないものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 21

- ① 「皇輿全覧図」 : カステイリオーネ
- ② 「坤輿万国全図」: マテオ=リッチ
- ③ 『水経注』 : 酈道元
- ④ 『地理誌』 : ストラボン
- ⑤ 『博物誌』 : プリニウス

問2 下線部(b)に関連し、18世紀前半のヨーロッパやアメリカ大陸の状況について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① イギリスでは、ステュアート朝が成立した。
- ② プロイセンでは、フリードリヒ2世(大王)が即位した。
- ③ ロシアでは、エカチェリーナ2世が即位した。
- ④ ポルトガルが、インドのゴアを占領した。
- ⑤ アメリカ合衆国の独立が承認された。

問3 下線部(c)に関連し、次に述べた文 a・b の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。 23

a マルコ=ポーロは、チンギス=ハンのもとを訪れたとされる。

b 『世界の記述』(『東方見聞録』)によって、大航海時代のヨーロッパ人は東方への関心を高めた。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問4 下線部(d)に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 康熙帝は、黄巢の乱を鎮圧し、清朝の統治を安定させた。
- ② 雍正帝は、ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
- ③ 乾隆帝は、『五経大全』を編纂^{へんさん}させた。
- ④ 道光帝は、アヘン対策のために林則徐を広州に派遣した。
- ⑤ 同治帝は、政治の実権を則天武后に奪われた。

問5 下線部(e)の時期にロシアはオスマン帝国と戦争を始めている。このことに関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① この時期のオスマン帝国のスルタンは、アブデュルハミト2世であった。
- ② ロシアは、バルカン半島でパン=スラヴ主義を利用して勢力拡大を図った。
- ③ ロシアは、1878年のベルリン会議でブルガリアを保護下の自治国とした。
- ④ 1878年のベルリン会議でルーマニアの独立が承認された。
- ⑤ 黒海から地中海進出をはかったロシアの勢力展開は、南下政策と呼ばれる。

問6 に入る人名として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アムンゼン ② クック ③ タスマン ④ バルボア
- ⑤ ヘディン ⑥ リヴィングストン

問7 下線部(f)のように、発掘によって古代都市が発見された例は少なくない。エーゲ文明と最も関連する都市または遺跡の名を、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① トロイア (トロヤ) ② ニネヴェ ③ ボロブドゥール
- ④ ポンペイ ⑤ モエンジョ=ダーロ

問8 下線部(g)は絹の道（シルクロード）のことである。これに関連し、次に述べた文 a・b の正誤を判断し、問3の指示に従って、その番号をマークしなさい。

28

- a カフカス（コーカサス）地方を中心的拠点としていたソグド人は、中国では胡人と呼ばれた。
- b 『南海寄帰内法伝』は漢代のインド旅行記である。

問9 下線部(h)に関連し、ペルーにある古代遺跡として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- ① オケオ ② 大ジンバブエ遺跡 ③ テノチティトラン
- ④ マチュ=ピチュ ⑤ リディア

問10 下線部(i)は世界史における代表的な伝染病である。世界史における伝染病に関連し、次に述べた文①～⑤から正しいものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- ① ペスト（黒死病）はアフリカで発生し、後に14世紀のヨーロッパで流行した。
- ② スペインの進出によりアメリカ大陸に伝染病がもちこまれ、インディオの人口激減の一因となった。
- ③ 『カンタベリ物語』は、ペスト（黒死病）から逃れた10人が語る物語集である。
- ④ コッホによって、狂犬病予防接種が開発された。
- ⑤ パストゥールによって、結核菌やコレラ菌が初めて発見された。

〔Ⅳ〕次の文章は、後藤明「よみがえるペルシア語」(『イスラーム世界史』所収、角川文庫。省略や付注、書き改めた箇所がある)の一節である。この文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

アラブ*¹の征服以前は、^(a)ササン朝ペルシア帝国が、イラク、イラン、中央アジアを支配していました。その時代のペルシア人の言語は、パハラヴィー語*²でした。アラブに征服されてからは、この言語は、書き言葉としての命を終えました。イラン人(ペルシア人)の知識人は、支配者の言語であるアラビア語を、文章語として採用したのです。イスラーム世界の学問は、^(b)ギリシア語からアラビア語への翻訳に基づく「外来の学問」と、伝承に基づく「固有の学問」がありましたが、この二つの学問を担っていたのは、アラブだけではなく、ペルシア人でもあったのです。

ササン朝時代の貴族の系譜をもつ^(c)サーマーン朝*³では、公式にはアラビア語がつかわれていましたが、詩人たちがペルシア語で詩をつくりはじめたのです。この時代の詩人たちのペルシア語は、かつてのパハラヴィー語とよばれたペルシア語とはかなり異なります。現代の日本語は、漢字の語彙を新たにつくる努力を放棄し、英語の単語を日本語化して使用しています。同じようなことが、9、10世紀のペルシア語にみられました。アラビア語の語彙を、ペルシア語化して使用したのです。文字も、^(d)パハラヴィー文字ではなく、アラビア文字を多少改良して、つかいました。このような新しいペルシア語を、近代ペルシア語とよびます。サーマーン朝治下の文人は、近代ペルシア語で詩作に励みました。

10世紀後半のイスラーム世界の東部では、^(e)ガズナ朝と^(f)セルジューク朝が大きな勢力でした。ガズナ朝は、トルコ人マムルークが中心の王朝です。そして、セルジューク朝は、イスラームに改宗したトルコ人の王朝です。この二つの王朝は、政治や軍事の分野ではトルコ人が優越していました。彼らの日常の言語は、もちろん、トルコ語です。しかし、この時代はまだ、トルコ語は文章語としては未熟でした。この二つの王朝に限らず、イスラーム世界の王朝の支配者は、詩人や文人を保護して、彼らと飲食をともにしながら、知的で楽しい夜を過ごすことが好きなのです。トルコ人の王朝であるガズナ朝とセルジューク朝の君主もまたそうだったのですが、彼らの宴会仲間の文人は、アラ

ビア語もつかいましたが、主としてペルシア語をつかいました。支配者がアラブである場合は、ペルシア語はなかなかつかえなかったのですが、文章語をもたないトルコ人の支配者のもとでは、遠慮はいりません。イラン人の文人は、トルコ人の支配下で、ペルシア語を洗練された文章語にしていきました。

話は飛躍しますが、江戸時代の日本は長崎で国際貿易をおこなっていました。国際貿易ですから、通訳（通事・通詞）が必要です。唐（中国語）通事・和蘭（オランダ語）通詞が重要であったことは言うまでもないのですが、江戸時代の初期には、モウル通事もいました。モウルとは^(g)ムガル帝国のことですが、実際にはこの通事が担当していた言語はペルシア語でした。

9, 10世紀に復興した近代ペルシア語は、その後、トルコ人の国家の広がりとともに、広い地域の共通語に発展していきました。13世紀の、ユーラシア大陸の大部分を支配した^(h)モンゴル帝国のもとでは、ペルシア語は事実上の公用語でした。そして、インドのムガル帝国の公用語ともなり、⁽ⁱ⁾東南アジアで交易に従事していたムスリム商人の言語ともなりました。東南アジアで活躍していたムスリム商人が、^(j)オランダ船などで長崎にもきていたのでしょう。ペルシア語は、18世紀ごろまで、広い地域の共通語なのでした。

- * 1 アラブとは、もともとアラビアの住民を指し、荒野の住民という意味の言葉。
- * 2 パハラヴィー語は、中期（中世）ペルシア語に当たる。
- * 3 サーマーン朝は、875年に成立。中央アジアからホラサーン地方まで支配した。

問1 下線部(a)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 31

- ① アケメネス朝を滅ぼして成立した。
- ② 建国者はホスロー1世である。
- ③ ゴロアスター教を国教とした。
- ④ 匈奴と協力してエフタルを滅ぼした。
- ⑤ 戦勝記念碑としてロゼッタ=ストーンを制作した。

問2 下線部(b)がイスラーム世界で発展する中で、数学・天文学にすぐれ、正確な太陽暦を作成するとともに、『四行詩集』（『ルバイヤート』）を著した人物がいる。この人物の名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 32

- ① イブン=シーナー（アヴィケンナ） ② イブン=ハルドゥーン
- ③ イブン=ルシュド（アヴェロエス） ④ ウマル（オマル）=ハイヤーム
- ⑤ ガザーリー

問3 下線部(c)のように、アッバース朝カリフの権威を表面的には認めつつも、実質的には独立していたイスラーム王朝が、10世紀以後に多数現れた。いっぽう、これとは異なり、アッバース朝カリフの権威を一切認めない王朝もあった。後者の立場をとった王朝の名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 33

- ① セルジューク朝 ② ファーティマ朝 ③ プワイフ朝
- ④ マムルーク朝 ⑤ ムラービト朝

問4 下線部(d)のパハラヴィー文字・アラビア文字はいずれもアラム文字を起源として派生したものとされる。このアラム文字を起源として派生した文字はほかにもさまざまにあるが、これに該当しないものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 34

- ① ウイグル文字 ② ソグド文字 ③ フェニキア文字
- ④ 満州（満洲）文字 ⑤ モンゴル文字

問5 下線部(e)は、10世紀半ば～12世紀後半に存在したイスラーム王朝である。この王朝について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 35

- ① 建国者は、アイバクである。
- ② 首都をデリーに置いた。
- ③ ティムール朝の侵攻を受けた。
- ④ 西夏（大夏）を滅ぼした。
- ⑤ インドへの侵攻をくりかえした。

問6 下線部(f)のとった行動が、第1回十字軍を誘発する直接的な原因となった。この原因となった行動として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 36

- ① アナトリア（小アジア）に進出したこと。
- ② ^{かいらい}傀儡政権としてエルサレム王国を建国したこと。
- ③ キリスト教徒の少年を徴集し、イエニチェリとして編制したこと。
- ④ コンスタンティノーブルを占領したこと。
- ⑤ バグダードに入城したこと。

問7 下線部(g)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 37

- ① アクバルは、イスラーム教徒とヒンドゥー教徒の融和をはかった。
- ② アウラングゼーブのとき、帝国の領域は最大となった。
- ③ ムガル皇帝によるヒンドゥー教徒への圧迫に対抗し、マラーター王国がたてられた。
- ④ ナーナクがジャイナ教を開き、カースト制度による差別を否定した。
- ⑤ インド産綿織物が国際商品として生産・輸出されたが、19世紀前半にはイギリス産綿織物に市場を奪われた。

問8 下線部(h)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 38

- ① チンギス=ハン（成吉思汗）は、支配下の遊牧民を千戸（千人隊）に組織した。
- ② ハイドゥは、オゴタイの即位に反対し、反乱をおこした。
- ③ バトゥは、キエフ公国などスラヴ系諸侯の国を服属させた。
- ④ フラグは、アッバース朝を滅ぼした。
- ⑤ フランス王が、ルブルックをモンゴルに派遣した。

問9 下線部(i)に関連し、次の文 a・b における下線部の正誤を判断し、下記の指示に従って、その番号をマークしなさい。 39

- a 1511年にイギリスがマラッカを占領すると、ムスリム商船はマラッカ海峡を避け、スダ海峡をぬけてジャワ海に入るルートを使うようになった。
- b 16世紀のジャワ島では、ヒンドゥー教を重んじたヴィジャヤナガル王国が衰え、イスラーム国家のバンテン王国やマタラム王国がおこった。

a と b がともに正しい場合は……①をマーク

a と b がともに誤りの場合は……②をマーク

a が正しく b が誤りの場合は……③をマーク

a が誤りで b が正しい場合は……④をマーク

問10 下線部(j)に関連し、次に述べた文①～⑤から誤っているものを一つ選び、その番号をマークしなさい。 40

- ① マゼラン（マガリャンイス）はオランダ王の援助を受け、西まわり航路でフィリピン諸島に到達した。
- ② オランダは、バタヴィアを東南アジア交易の根拠地とした。
- ③ オランダは、アンボイナ事件を機に、モルッカ諸島からイギリス人を追放した。
- ④ オランダは台湾を占領したが、鄭成功によって追放された。
- ⑤ オランダは、アフリカ南端にケープ植民地を創設した。